

2024 年 11 月 8 日
日本船主協会 企画部広報室

海運の重要性を学校教育の場で
～全国小学校社会科研究協議会研究大会（出雲）にてブースを出展～

当協会は、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性を学校教育において取り上げていただくよう、商船・海事施設等の見学会や出前授業などに取り組んでおります。

10 月 31 日、11 月 1 日に島根県出雲市で開催された全国小学校社会科研究協議会研究大会の会場にて、日本海事広報協会と協力してブースを出展し、同研究大会に出席した全国の小学校社会科の先生に対して、出前授業、海事関係施設の見学会の様子や、当協会ははじめ各海事関連団体が制作したコンテンツ等を紹介するとともに、各種関連資料を配布しました。当協会は、1 日目の全体会と、2 日目の公開授業・授業研究会の全 3 会場のうち 2 会場（出雲市立荘原小学校、出雲市立西野小学校）にて出展し、夫々の会場での先生の参加者数は、1 日目が約 200 名、2 日目は各会場約 150 名でした。

海運に関心がある先生も多数おり、授業に活用いただける資料の内容を紹介しました。



出展ブースの様子（1 日目会場）



来場者への説明の様子（2 日目第 2 会場西野小学校）

当協会は、今後も海事関連諸団体などと連携しながら、先生方への継続的なアプローチなどを通じ、海事産業をより教育に取り上げていただけるよう広報活動に注力してまいります。

以上